

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜各務野高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年10月23日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜各務野高等学校 大会議室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会長	大平 和子	各務原市立鵜沼第二小学校 校長	(欠席)
副会長	山口 貴江	鵜沼西保育所 園長	
委員	卯野 仁志	元各務原区長	
	下田 未歩	各務原商工会議所青年部 事務局長	
	長縄 康浩	フェニックス総合クリニック 副院長	
	林 克幸	サン・ビジョンジョイフル各務原 施設長	
	廣瀬 真一	公益財団法人かかみがはら未来文化財団 事業推進グループ長	
	星山 道弘	株式会社 日本温浴研究所	
	若原 隆司	令和6年度PTA会長	
	細田 麗香	令和6年度PTA副会長	
学校側	野田 正明	校長	
	浅井 智世	教頭	
	加藤 講平	教頭	
	柳原 英紀	事務長	
	鈴木 雅雄	教務部長	
	丹羽 智之	生徒支援部長	
	鹿野 知幸	進路支援部長	
	上野 豪史	特別活動部長	
	小又 友樹	専門教育部長	
	秋田 寛	ビジネス科主任	
	宮本 崇義	情報科主任代理	
	石樽 裕加	福祉科主任	
	久保田千穂	教務部記録係	

### 5 会議の概要(協議事項)

(1) 生徒を対象とするアンケート結果、保護者・学校運営協議会委員を対象とするアンケート結果について

意見1:学校の取組みについて「わからない」という項目が多いのは情報が十分に提供されていないことに起因するのではないか。このような活動をしているという情報提供ができるとよい。

意見2:ホームページは、生徒も交えてデザインを魅力的にして、周りの人に響くように情報発信をしていく必要がある。

意見3:「体罰やハラスメントはない」という項目に対して「あてはまらない」という回答をしている生徒がいることについてはどうか。

⇒生徒の訴えに迅速に対応し、「あてはまらない」という回答が0になるよう取り組んでいく。

(2) 各学科の取組み状況、3学科合同企画の取組み状況について

意見1：ICTを活用した授業が多く見られた。

意見2：外部機関との連携は、多様な人々と関わることで人間力を磨くことができる。

意見3：各務原町は、高等学校・商業施設・福祉施設がある重要なところであるため、相互に  
よい関係性をもって取り組めるとよい。

意見4：保育実習に来ていた生徒たちはみな、明るい姿で取り組んでいる。

意見5：福祉科について、限られた実習の中でのケアプランや課題研究の内容は、生徒の視点  
が興味深く、新鮮である。大学生が法人に入り、研究活動をした事例はあるが、高校  
生が主体的に取り組んでいることは大変すばらしい。ぜひとも体験したことを聞いて  
みたい。

意見6：先日各務原市で開催された「全国エンタメまつり」では、情報科の作品を見たデザイ  
ナーから、業界の即戦力になるとの高評価を得られた。企業に取組みをもっとよく知  
ってもらおうとよい。

意見7：道路から見える箇所にも掲示板を作ってもらえると地域住民としてうれしい。

意見8：設備が充実している。貧困の問題があり、授業料が高いと感じる生徒がいるのではな  
いかと心配される。3年間きちんと学習ができるようにしてほしい。

(3) かかみの未来プロジェクトについて

意見1：難しい取組みではあると思うが、着実な取組みがされていて、驚き感心した。大切な  
ことであるのでぜひ頑張ってもらいたい。

意見2：生徒の成長を促す取組みである。生徒に対して、この取組みの価値付けや重要性の認  
識をさせることができるとよい。掲示板を活用して活動を見える形にする、表彰する  
などの活動の対価を与えられるとよい。

意見3：同じ学校にいても話したことがない、他の学科の生徒と話し交流する機会ができてよ  
い。生徒は、グループの中で自分の意見を言うことの難しさを改めて認識したよう  
である。

(4) 生徒支援部の取組み、3年生の進路状況、部活動の主な成績について

意見1：自転車通学者がヘルメットを着用していないのが心配で気になる。

意見2：敏感な生徒が多いのかという印象を受ける。一人にしない、サポートする場所がある  
のはよい。

意見3：自分の思いを吐き出す場を設けるなど、生徒のメンタルケアが大切である。

意見4：遅刻を少なくすることについては、入学時から継続的に指導してもらっていてありが  
たい。

意見5：部活動の活躍は生徒の励みや目標になる。

意見6：部活動の様子を見ていると、敬語の使い方など、生徒同士の言葉遣いが気になる場面  
がある。

意見7：「すぐー」を用いた情報提供によって、他の部活動の大会ライブ配信があることを  
知り、生徒の活躍を見ることができた。

(5) スクール・ミッションについて

意見1：0から1をつくる学びをいろいろな機会できるとよい。

意見2：学ばれていることは社会での実践につながっている。地域と一緒に学びを進めてほし

い。人生100年時代の中で、学び直しが大切である。社会に出た大人の学びと、高校生の学びが、顔の見える場で交わることができるようにするとよい。

## 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、生徒、保護者・学校運営協議会委員を対象とするアンケート結果についてと各学科、分掌からの取組み状況の中間報告を行った。5月から7月までの学校運営の推進状況についてまとめた冊子を事前に渡し、さらに今回の学校運営協議会で、これまでの推進状況について説明を行ったことで、学校の取組みについて理解が得られた。スクール・ミッションについても、提案したとおりの内容でよいとの意見が得られた。

今回、各委員からいただいた意見を基に、後期の学校運営に生かしていく。